

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.  
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

編集長 野々垣和宏

2025年01月11日(土) 発行

KOFU21

Chartered 1990

甲府21ワイズメンズクラブ



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7  
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター  
☎055-235-8543 fax055-235-8553  
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	A・シャナヴァスカーン(インド)	「より良い世界のために、共に」 (Together for a Better World)
アジア太平洋地域会長	ジョウン・ウォン(香港)	「大きなインパクトを起こそう」(Make a Great Impact)
東日本区理事	山田公平 (宇都宮)	「ワイズの方向性を見極める」(Our Future Direction)
あずさ部部长	ピーター・マウントフォード(甲府)	「めあて 望み」
甲府21クラブ会長	興水順雄	「未来のために行動しよう」(Let's act for future!)

甲府21ワイズメンズクラブ  
2025年1月会報

今月の強調テーマ

E F、J E F

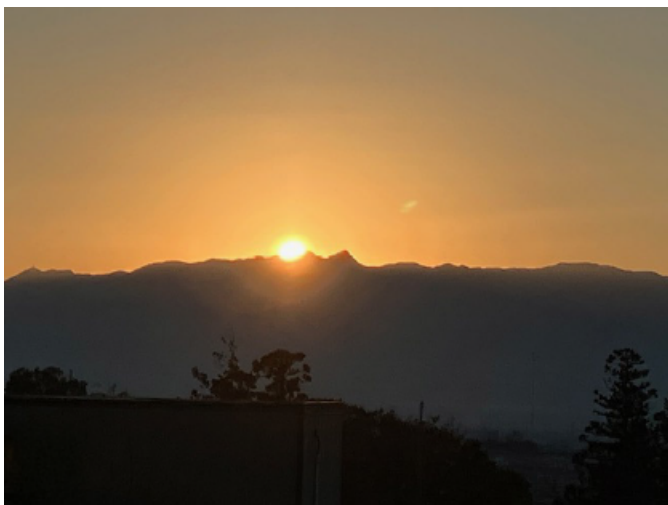
今月の  
聖句

聖句 「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである」 マタイ 5-3

昨年6月23日日曜日の礼拝、私は妻の介護疲れと自身の腰痛のためにどん底の呻いての出席でした。その時にワイズの友人から掛けられた一言を契機にその後の2ヵ月の経過が今日の回復へと至りました。今まで経験したことのない自身の苦しみとともに、あのような教会でのひとときを思い出します。そしてイエスの山上の教えが実感をもって分かる思いです。  
(功刀 弘)

1月 巻頭言

甲府21クラブ会長 興水 順雄



日の出の写真。甲斐市ドラゴンパーク付近から撮った「釈迦ヶ岳に昇る朝日」(興水順雄撮影)

明けましておめでとうございます。

昨年は能登半島地震に始まり、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻は続き、豪雨災害など心痛める出来事が続きました。政治も米大統領選でのトランプ氏の当選、解散総選挙での少数与党の出現など不透明な状況が続いています。一挙に解決できるとは思いませんが、世界が・日本が少しでも平和な暮らしに近づくように願うと共に行動(募金も含めて)したいと思います。

初めて山梨YMCAで開催したクリスマス例会は、愛宕町教会の宍戸牧師の平和にまつわるクリスマスメッセージ、杉田ワイズの素晴らしい歌声、武井教子さんの入会式、浅川・中込さんの楽しい演奏など盛り沢山の内容でした。皆様のご協力の良い時間を持つことができました。

甲府21クラブは武井教子ワイズを加えて、45名の会員となっています。チャリーテーラン、バザー、そしてベビーカーコンサート、ぶどう・枯露柿のファンドなどの活動は、マンパワーを活かしてより良いものにしていきたいと思います。そして会員も多くなっていますので、会員相互の交流も意識していきたいと思っています。銀河鉄道の森での昼食づくりは、参加者が増えると良い交流の場になるような気がします。また、第2例会では懇親の機会を設けたいと思います。

会員数は一番でも、出席率は他クラブに比べ少ないような気がします。今年は出席率を少しでも上げたいと思います。忙しい時は、例会もイベントも遅刻・途中退席OKです。ぜひ月1回は例会またはイベントへ顔を出してください。皆さんと共に充実したワイズライフの1年にしたいと思います。

## 2025 年 新春 4 クラブ合同例会 プログラム ホストクラブ・甲府やまなみ

甲府・甲府 21・富士五湖・甲府やまなみ合同例会  
 ○日時：2025 年 1 月 11 日（土）11：00～13：30  
 ○会場：山梨 Y M C A 大澤英二喜夫年ホールベテル  
 ○会費：¥4,000

▼第 1 部 例会	司会	仙洞田安宏
開会点鐘	甲府やまなみ	米山俊彦会長
ワイズソング		一同
会長挨拶・ゲスト紹介		米山俊彦会長
挨拶	あずさ部部長	ピーター・マツフォード
新春講演「世界に繋がるワイズメンズクラブ」		
直前アジア太平洋地域会長	利根川恵子様（川越）	
ハッピーバースデー／諸報告		各クラブ

～写真 撮影～

▼第 2 部 懇親祝会	司会	藤原一正
開会の辞	甲府 21 クラブ	輿水順雄会長
食前感謝	甲府やまなみ	福田奈里子
乾杯	富士五湖	原 淑子会長
新入会員紹介／アピール等		
Y M C A プレゼンツ		
Y M C A の歌		一同
閉会点鐘	甲府クラブ	小倉恵一会長

## 2024 年 12 月 クリスマス 例会 書記 荻野清

2024 年 12 月 第 1 例会報告  
 ・日時 2024 年 12 月 7 日（土）18：30～  
 ・会場 山梨 Y M C A 大澤英二記念ホールベテル

12 月の第 1 例会は、恒例の Xmas 例会として、山梨 Y M C A 3F「大澤英二記念ホール“ベテル”」で賑々しく開催された。本会は三部構成からなり、第一部（礼拝）、第二部（例会）、第三部（祝会）という形で、礼拝では愛宕町教会の宍戸俊介牧師から「歌うのをやめた天使」と題しての説教をいただきました。また、後奏に替わり、当クラブの杉田博子ワイズ（伴奏：田中未緒）のソプラノ独唱が、Xmas 例会をおごそかな雰囲気にしていった。記念撮影後の通常例会では、ニューカマー武井教子さんの入会式が当クラブ葉袋 EMC 委員長の進行で執り行われ、あずさ部 EMC 主査の長谷川あや子さんからお祝いの言葉をいただき、ここでも厳粛な空気が漂っていた。

第三部の祝会では、後藤ワイズの感謝祈禱に始まり、水越次期会長の乾杯発声で宴に入った。今回は沼田三郎・永子ご夫妻が欠席という中ではあったが、当クラブのバザー功労者として飯田剛ワイズ及び清水公一ワイズが顕著な功労として表彰された。宴の中心では、“浅川那由多”さんと”中込信行“さんによるヴァイオリン&キーボード・パークッション演奏が、参加者の青春時代のノスタルジアの気持ちを強く引き出していた。また、恒例のオークションは、「お楽しみ抽選会」という形で行われた。抽選券を購入していただき、輿水会長が抽選番号を引くという方式で、参加者全員の注目が集まり、素晴らしい 2024 Xmas 例会の幕が閉じた。後日談ですが、今回ゲストとして甲府クラブの石川健ワイズが参加されていて、今回の演奏者の 2 名他に「山梨英和カートメルこども園」の Xmas コンサートを実演していただいた、とのお話があり、当クラブ・ベビーカーコンサート出演への橋渡し役をお願いをした。







## 《1月の誕生者》 Happy Birthday!

(メン)

小澤 公紀 (1月1日)  
末木 咲子 (1月7日)  
鈴木美穂子 (1月26日)

(メネット)

清藤 和子 (1月11日)  
山口 茜 (1月15日)

[敬称略]



## 会計報告

会計 赤根 学

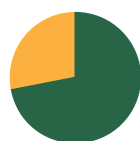
[会計報告]

2024年12月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
12月の合計	0	0	42,750	42,750
12月末迄累計	75,397	550,000	42,750	668,147
達成率	30.1%	550.0%	85.5%	167.0%

## 《12月例会の出席者》



72.7%

会員数	44名
第一例会出席者	32名
ゲスト参加者	13名
メネット	8名
総出席者数	53名
出席率(会員のみ)	72.7%

## 今後の予定

2025年

1月11日(土) 第1例会 (山梨4クラブ新年合同例会)  
会場: 山梨YMCA3階ベテル 担当 やまなみクラブ

1月13日(月・祝) お正月を遊ぼう  
(やまなみクラブ応援) 甲府北口“よっちゃんばれ広場”

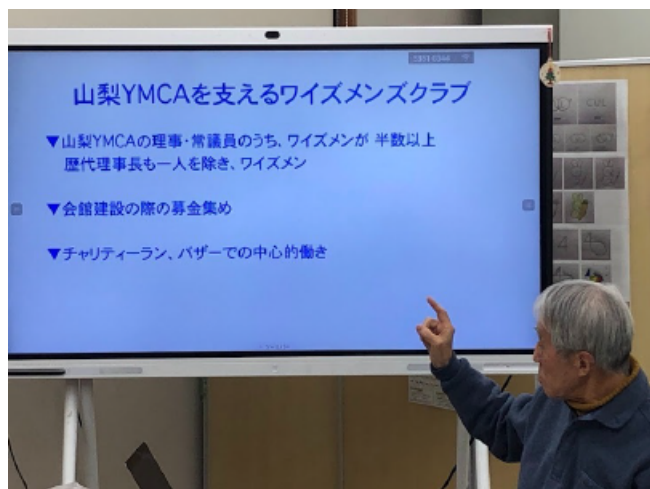
1月21日(火) 第2例会 18時半

## YMCAユースとともに

### 第 3 回 みずがきの家学習会報告

松村禎夫

「みずがきの家学習会」は、史料展示室活動の一環でユースリーダーとの懇談の場として 7 月に始まり、三回目が 12 月 23 日参加者 15 名（内ユース 6 名）で開催されました。ユースリーダー兼 YMCA スタッフである菊池君による前回の「私にとって YMCA とは」の発題を受けて、今回は甲府やまなみワイズメンズクラブの仙洞田さんによって「YMCA とワイズメンズクラブ」について発題いただきました。ユースリーダーの中には、普段ワイズメンズクラブに活動を支えられていることは知っていても、実際にどのような団体であるのかについて知らないという人が多く、ワイズメンとユースとの対話が進む中で相互理解につながり有意義な時間を持つことが出来ました。



今回のユースメンバーの発言やこの夏の「ユースたちの夏休み日記 大公開 SP」の活動発表を思い出すと、5、6 年前の山中湖「東日本区ユースボランティアリーダーフォーラム」に、山梨 YMCA からはユースの参加が

ゼロだったことは嘘のような思いがしました。

この学習会で、ユースの方々がボランティア活動での費用について真剣に考えていたことは印象的でした。ワイズや YMCA はユースボランティア活動に出来るだけ資金的サポートをするが、実際にイベントをする際にその費用をどう捻出するかは、活動を継続するためには大きな課題であると考えさせられました。



中央の掛け軸は、1948 年（昭和 23 年）6 月、賀川豊彦が、甲府一高などで講演した後、その夜の宿を提供した桑島敏統さん（桑島一郎＝初代 YMCA 総主事の父親）宛に（為書き）、感謝を込めて、この書を書き記し、贈られたという。この度、ご遺族から、新しい表装を施した上で、山梨 YMCA 宛に寄贈されたものである。





## 「日本での百年」を辿って

カナダ・メソジストの歩み [明治・大正編]  
グウェン・R. P. ノルマン 著  
後藤哲夫 訳  
One Hundred Years In Japan, Part I: 1873-1923

後藤 哲夫

### 第 12 回 主われを愛す

「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。(ルカによる福音書 18 章 16-17)

□最初に来日した、カックラン、マクドナルド宣教師の夫人たちは、男子宣教師（神学を修め、教会伝道者）の入り込めない、女性ならではの活動の場があり、その必要性を発見していた。即ちそれは女学校であり、幼稚園であり、日曜学校であった。婦人宣教協会（WMS）は、長野にも3つの英和女学校のような学校をつくりたかった。しかし、地元の支援者は善光寺の勢力を恐れて、一歩前に踏み出せなかった。長野女塾は、1899年、WMSによって開設され、校舎は午前中は幼稚園として使い、午後に学校（英語教育中心）を運営した。1年目英語クラスに58名が出席していたのだが、学校としての認可は受けられず、聖書を科目に入れることが分かると生徒数が激減した。しかし、長野は幼稚園の需要が多く、正規の学校開設が困難だと分かると、次第に幼稚園教育に活動の中心を移していった。

1898年 長野市に旭幼稚園

1900年 上田市に梅花幼稚園、その後長野の各地に幼稚園が設立。

(因みに、山梨でカートメル女塾が1915年、市川幼稚園が1917年に設立)

カナダ・ミッションは、各地に幼稚園が生まれ、保育者の教育が急務の課題となった。

1905年 WMS デウォルフにより上田保母伝習所が開設され、保育者の教育に乗り出し

た。教師陣もデウォルフ、ドレイク、レディアードといった学識の高い一流の教師で、優れた保育者を多く輩出し地域のみならず広く影響を及ぼした。

1905（明治38）年9月5日、上田市に最初の幼稚園保母養成クラスが開かれた。1906年7月、5人のうち3人の生徒が助手の免許状を与えられた。1907年のミス・デウォルフの次のような報告からこの養成所が評判を呼んだことがうかがえる。

幼稚園保母養成学校〔上田保母伝習所のこと〕は、次第に、しかし確実に発展しています。私たちは2年前に2名の学生（学期を始めてからさらに3名の学生が入学しました）で学校をスタートしました。今年は10名の正規の学生と2名の特別生が登録されています。

これまでこの地域では、幼稚園の保母は一種の優れた子守くらいに見られていたのですが、保母養成学校が開始されたおかげで、知識階級の人々の考えが大きく変化しました。私たちはこの市で教育戦力としての役割を担い始めているのです。この地方と市の視察官や信州地区の教育委員長の訪問があり、私たちの学習について尋ねたり、教師と子供たち両方の活動を調査しました。その上で、私たちがしているすべてに満足し、またこの仕事に完全に賛成してくれたのです。……小学校の教師のうち一人が、退職して4月から保母養成学校の生徒となりました。大山〔綱昌〕知事が、長野から快くかけつけてくれ、(卒業式)で私たちのために祝辞を述べられました。彼が来校したことで市民の目には私たちの活動の重要性が分かるようになりました。農学校の校長、男子中学校の副校長、保母養成学校の現職員のすべてが、卒業式を成功させるために最善を尽くしたのです。

おぼつかないながらも始められた、上田市（後に東京）の保母養成学校で訓練されたクリスチャン教師たちによる幼稚園は、やがてWMSのみならずメソジスト総合宣教局にとっても一つの重要な部門となったのである。

□日曜学校、子供会の働きも忘れてはならない。日曜学校教師のための、ノーマル・スクール（ハミル館）が現・関西学院敷地内に建てられた。東洋英和の中にできた、ノーマル・クラスは生徒に日曜学校の教師として活動できるように知識を教え、実習学習させたものである。

ところでとても面白いことに、この時期仏教のお寺でも日曜学校を始めたそうだ。子供たちがこう歌っていたという。「ブツダ（仏陀）われ愛す。これわれ知りぬ。お経かく教う。」・・・これは日本で最初に翻訳された讃美歌のひとつ「主われを愛す」の替え歌である。この歌はあまりに有名でキリスト教主義の幼稚園、学校、日曜学校でしばしば歌われた。

Jesus lives me this I kow  
 エス ワレオ 愛シマス  
 for the the Bible tells me so,・・・  
 サウ 聖書 申シマス

- 1) 主われを愛す 主は強ければ  
 われ弱くとも 恐れはあらし  
 わが主イエス わが主イエス  
 わが主イエス われを愛す
- 4) わが君イエスよ われをきよめて  
 よきはたらきを なさしめたまえ  
 わが主イエス わが主イエス  
 わが主イエス われを愛す

□最近何人かの方にこの讃美歌のことを聞いてみた。すると、「宣教師さんから教えてもらったので、英語で歌えますよ。」と言って歌われた方がおられた。また別の方は、「幼い頃に父親の膝の上で子守歌がわりに聞きました」と言っていた。

さて、「主われを愛す」とか「われをきよめて、

よきはたらきを、なさしめたまえ」とは、何であるか。新年を迎え、禪の公案をひとつ突きつけられたような気持ちである。借りものでない自分のことばで示せ、とどこからか声がする。



▼ブリテン委員長野々垣和宏です。

今回の後藤先生のコラムではなく、1号前のコラムに刺激を受けて正月休みに「私のことば体験」（松居直）を読みました。12月号に掲載されていた福音館の編集者です。松居さんは同志社大学の時に、ガールフレンドから「ホワイトクリスマスを見に来ませんか？」と誘われて、彼女の実家がある金沢へと向かい、その父親である佐藤喜一が経営していた小さな書店「福音館」を訪れたのです。福音館は、パーシー・プライス（カナダ宣教師）が伝道の為に開いた書店でした。

さて、その「私のことば体験」の中でいくつか心に残る箇所があるので採録させていただきます。

①読んだのではなく聞いた—それが、私のことばへの感覚を開いてくれました。

②平和ということばは、祈りでした。

③「いすみ会」みんな編集者でしたから 論ずるより作ることのほうが好きなんですよ。

これから日本の子どものために

どういう仕事をしていかななくてはならないのか。

先月号の後藤先生のコラムには、初めにことば（言）があった、とありました。もう一度「ことば」の力を再認識しながら、今月号から始まった鎌田先生の戦争体験を通じて、「祈り」の意味を考えています。

2024年から2025年にかけて、お二人のコラムに触れ、そして松居さんの本に触れたのは、まさに必要・必然そしてベストだと思っています。船井幸雄の「法則」の一つに「世の中に起きることはすべて、必然、必要」というものがあります。すべてのことは起こるべくして起こっています。森羅万象、あらゆるものが必然、必要だから生起し、必然、必要だから消滅していきます。それが人間の目にどう映ろうと、心にどう感じられようと、この世にムダなもの、不要なものなど一つもありません。これは抗い難い世界の仕組みであり、宇宙の定理です。

## 私の戦争体験 No.1



### 私の戦争体験 ～戦前から戦後の様子～

鎌田 巖

今もウクライナ、パレスチナを含め世界各地で戦いが起こっています。戦争になるとどうなるか、実際に甲府空襲を体験した事を話します。

私の生まれた昭和 13 年は戦争一色の時代でした。

昭和 20 年 4 月に国民学校に入学しましたが上級生は毎日、軍事訓練、工場などへ勤労奉仕に行く事で明け暮れていました。

皆さんは以下の事柄をご存じですか？

#### 1 戦前

軍国主義 天皇制 明治憲法 教育勅語  
軍隊 大本営 司令部 憲兵 軍事訓練

#### 2 戦時下

防空壕 防空頭巾 ゲートル (脚絆) モンペ  
警戒警報 疎開

#### 3 戦争時

偵察 機銃操作 照明弾 B29 爆撃機 焼夷弾

大本営 甲府 49 連隊 (歩兵第四十九連隊)  
統制 配給

#### 4 戦後

昭和 20 年 8 月 14 日ポツダム宣言受諾 無条件降伏

昭和 20 年 8 月 15 日天皇陛下戦争の終結のラジオ放送

焼野原： 浮浪児 引揚者 傷痍軍人

GHQ (General Headquarters) 連合国軍最高司令官総司令部

進駐軍 (連合軍) カマボコ兵舎

学校： 新教育制度 6・3制

戦前から続く統制 配給

\* 青空教室：

校舎の再建 避難住宅 給食 脱脂粉乳 DDT

朝鮮戦争

統制 配給 (一部、戦前から続く)

闇市 物々交換

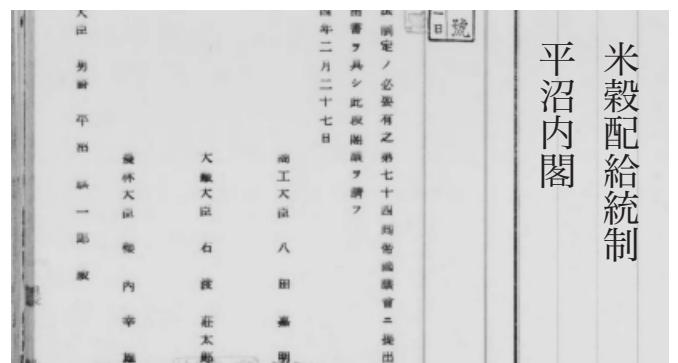
\* 米穀通帳 昭和 14 年 4 月～昭和 54 年 1 月迄

米穀通帳については 70 代以下の人は殆ど知らないと思います。

この通帳がどんな物か、なければ米が買えなかった事、昭和 54 年迄存続していた事など。

以上、戦争前 戦時中 戦後の状態を思い出しました。

今回は甲府空襲について記載します。



農甲一四 昭和十四年三月二十九日 別紙両院ノ議決ヲ経タル米穀配給統制法案ヲ審査スルニ右ノ貴族院議長上奏ノ通裁可ヲ奏請セラレ可然ト認ム 法律案 朕帝国議會ノ協賛ヲ経タル米穀配給統制法案ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム 御名御璽 昭和十四年四月十一日 内閣総理大臣 内務大臣 大蔵大臣 農林大臣 商工大臣 法律第⑩十一号 上奏案ノ通 貴族院ハ両院ノ議ヲ経タル米穀配給統制法案ノ裁可ヲ奏請ス 昭和十四年三月二十五日 貴族院議長伯爵松平頼寿 米穀配給統制法 第一条 米穀ノ買入若ハ売渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行ハントスル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ但シ勅令ヲ以テ定ムル者ハ此ノ限ニ在ラズ 第二条 前条ノ許可

▼ブリテン委員長野々垣です。今回のブリテンより鎌田巖ワイズによる「私の戦争体験」の連載が始まりました。小学校に入学した年に終戦を迎えられた鎌田少年の記憶を、私たちは記録して、残していきたい、と思っています。また同じ時期や、戦後を過ごされた方々からの寄稿もお待ちしております。風化させないように、発信して参ります。



## ペンリレー

<Y's メンバーの活動についてこのごろ思う事>

飯田 剛

私が Y's メンズクラブに参加して、数年が経ちました。

当初は、「都合の良い時に、例会に出ればよい。」という軽い思いがありました。しかし、クラブの内容などが少しずつ解るようになり、今になっては反省の思いです。

大変、消極的でしたが、色々やらされて、やってみて、皆様にフォローして頂きました。Y's クラブの対外的、対内的な意義が、少しですが解るようになりました。

それにしても、世界中でこのクラブの目指すものは、本当に尊いものだと、思います。普通に考えても、世の中、一人では生きていけません。

甲府 21 クラブは現在、会員数も多く、又、多彩な人材がおられて、この活動が行われています。見えないところで、ご自分のお仕事をさておいて、リーダーシップを発揮され、しかも献身的に活動をしておられる先輩方に、本当に頭が下がります。敬意を表します。

私のような、1 回でも多くのお手伝いの為の出席を、最低限の仕事だと割り切って、努力するのも、一會員の務めと、意識して参加しています。

しかし、最近では、1 年を通じ、色々な行事に参加する中で、楽しみが出て来ました。それは、行事や、Y's の例会があると、自分の生活の中でのアクセントになり、これが気分的な休息となり、“楽しみ“に思えることが、増えてきました。

「Y's の信条である、先ず参加すること」メンバーがより積極的に参加して、交流の機会を増やしていくことが Y's の活力を増進することになると、体験から実感しています。

多彩な能力を持ち合わせるメンバーがいるからこそ、より活発な活動に展開できます。

※皆さん、なんでもやってみよう。みんなで、フォローしてくれます。

若いメンバーも増えて、活性化しています。新メンバーの増強に努力したい、と思っています。

## ◆YMCA便り◆

「祝福・平和・希望に満ちた新年へ」

総主事 中田 純子

新年おめでとうございます。2025 年を迎えるにあたり、まず私たちは日本と世界の平和を祈り、喜びを分かち合うために心を静めたいと思います。

昨年 12 月は、イエス・キリストの誕生を祝う喜びの時でしたが、同時に私たちにとって大変大きな出来事もありました。昨年 10 月、日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞しました。このニュースは私たちに驚きと喜び、そして大きな希望をもたらしました。

日本被団協は広島 YMCA から始まり、共に同じ思いで運動し、平和を訴えてきた団体です。長年の努力が世界に認められたことは、平和を求める私たちに力強いメッセージを送っています。12 月 10 日の授賞式では、田中熙巳代表委員が「核兵器は一発たりとも持つてはいけない」という被爆者の強い願いを世界に向けて訴えました。また、「核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張ろう」と呼びかけ、未来への希望を示しました。

しかし、地続きにある円い地球を見ると、人々の争いは絶え間なく続いています。自ら兵器を持ち戦いに向かう姿は、ただ悲しいというよりも心が引き裂かれる思いです。

山梨 YMCA は 1946 年、戦後間もない時期に設立されました。戦争を体験した青少年たちがこの地の平和を祈りこの YMCA を築き上げてきたのだと想像されます。この YMCA に寄り添うワイズメンズクラブも同じ方向を向いて歩む団体として、これからもすべての人々にとって平和な社会の実現に向けて努力を続けていきたいと思います。

2025 年の祝福と世界の人々の平和とより良い未来への希望が生まれますように祈りを重ねます。この時、皆様と共に小さな一歩を踏み出すことができることに感謝いたします。